

会議録（要点録）

会 議 名	第6回 第4次八王子市教育振興基本計画策定検討会	
日 時	令和6年11月26日(火)午後7時00分～8時00分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 801会議室	
出席者氏名	参加者	◎川島弘嗣、○大宝院清孝、増田正弘、三浦壮次、中村八重、佐藤ますみ、櫻井励造、小室裕美、小林七海 ◎:座長 ○:副座長
	教育委員会事務局職員	長井優治 教育総務課長、田島裕子 生涯学習政策課長、狩野貴紀 統括指導主事、志村亮介 統括指導主事、福島裕子 統括指導主事
	事務局	三枝信博 教育総務課主査
欠席者氏名	矢ヶ崎由香	
次 第	1 開会 2 議題 第4次八王子市教育振興基本計画（素案）について 3 その他 4 閉会	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人数	なし	
配付資料名	・次第 ・第4次八王子市教育振興基本計画（素案）について ・参考資料 策定検討会意見等反映状況一覧	

	会議の内容
事務局 座長 参加者 座長	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>第4次八王子市教育振興基本計画の素案について</p> <p>「資料1」について説明。</p> <p>各施策について、御意見等をいただきたい。</p> <p>総論について、「持続可能な社会の創り手の育成」と「ウェルビーイングの向上」が取り入れられていて良いと思う。教育委員の方々は学習指導要領の内容について、現場の先生に深く理解してほしいと思っているのではないかと。第4次計画は、国の教育振興基本計画を参酌し、東京都の教育ビジョンの整合性をはかっている。東京都の教育ビジョンでも学習指導要領の内容には触れているが、学習指導要領という言葉は出てきていないと思うので、この表現で十分だと感じている。</p> <p>施策2「小中一貫教育の推進」について、いずみの森義務教育学校育の、取組と</p>

<p>参加者</p>	<p>して掲載する内容がこの一文だけなのは物足りなさを感じる。修正版で配布された、P 8の「「11いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくり」について、文のはじめに「だれもが読書を日常の習慣としている」とあるが、言葉がつながっていないように見える。施策 26「誰もが学べる環境の整備」にある「現状と課題」の6つ目にも同じような内容が掲載されているが、もう少し表現の仕方を変えると良いと思う。「習慣としている」と表現するのであれば、そのあとに続く言葉は「推進していく」ではなく「継続」になると思う。</p> <p>今までの取組を通じて、「習慣としている」という表現は取り入れて良いと思う。現状として「読書のまち八王子」というキャッチフレーズに親しみがない方も多くいる中で、「本との出会いは素晴らしい」ということが伝わる言葉を入れられないか。施策 16「地域運営学校と地域学校協働活動の一体的推進」の「施策の方向」4つ目に「子どもたちや地域住民による多様な地域学校協働活動の場として、学校施設の活用をすすめます」に対する「主な取組」に「学校施設を活用した社会教育活動等に関する学校の意識醸成」とあるが、具体的に「意識の醸成」とはどのような内容を示しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校運営協議会の活動を活発に取り組んでいただいている状況で、学校運営協議会の活動の両輪として、地域学校協働活動を具体的に推進していくことを示している。学校と一体になり、考えや意識を高めていくという位置付けで、学校運営協議会と地域運営協働活動の活動を推進し、次の段階を意識していかなければならないと感じている。</p>
<p>参加者 事務局</p>	<p>学校側の意識をあげていくという認識か。</p> <p>地域によっては活動が活発なところと、そうではないところがあるので、全体的に意識を高めていく方向ですすめていく。</p>
<p>参加者</p>	<p>施策 14「グローバルに活躍できる多様な力を育成する教育の推進」の中で、最終的にビジネスを立ち上げるきっかけとなるような取組があると良いと思う。幼いころからビジネスや事業にふれる機会があると、ビジネス経験が磨かれて良いのではないかと感じる。施策 19「家庭教育支援活動の推進」について、保護者同士がイベントの情報を共有している場合もあるので、元になる情報を発信してほしい。施策 26「誰もが学べる環境の整備」の「現状と課題」の2つ目に「はちりカ」とあるが、リアルタイムで情報が発信されると、育児中に時間ができた時にも活用できる。</p>
<p>座長</p>	<p>情報の発信は難しい事であり、欲しい情報があっても、どこから入手して良いか分からない。ここ数年でいうと、広報はちおうじには二次元コードが付けられている。多くの情報の中にも優先順位があると思うが、学校のホームページにも情報を発信していくと、保護者の目にも留まると思う。</p>
<p>副座長</p>	<p>施策 18「子どもの安全・安心の確保」について、「主な取組」の5つ目に学校安全ボランティアの活動に関することが掲載されている。八王子市内では自転車の事</p>

	<p>故が多く発生していることについて教育委員会から注意喚起されている。学校安全ボランティアに協力してくださる方が減少している状況である。町会に働きかけていただいて、学校安全ボランティアを依頼することはできないだろうか。施策3「自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」について、「施策の方向」の一番目に人権教育に関する内容があり、「主な取組」に「人権尊重推進校の研究成果の普及」とある。実際に研究成果を普及し、研究結果の発表も行っている。人権教育は学校教育そのものの根幹に当たるものなので、「自分を大切にして、他者を思いやる心の育成」は、実際にどの学校でも行っている。「人権」という言葉自体を、子どもが明確に意識する機会はなかなか確保しづらいと思う。例えば、「人権の花運動」というものがあるが、これは「花を育てることによって命の大切さや、協力したり感謝の心を育んでいこう」という取組である。各学校でも経験しても良いと感じる。</p>
参加者	<p>施策 16「地域運営学校と地域学校協働活動の一体的推進」について、管理職や教職員の受け取り方によって、学校運営協議会や地域学校協働活動の活動に差があると感じている。管理職が変わってしまっても継続して連携がはかれるようにするために学校運営協議会が存在していると思うので、管理職だけではなく教職員にも学校運営協議会や地域学校協働活動に対しての認識や知識を定着させるような働きかけがあると更に協働がしやすくなると思う。</p>
副座長	<p>学校側も意識を高めていくような取組があるということ、地域教育推進課から各学校運営協議会に、取組の内容を伝える場面があっても良いと思う。</p>
参加者	<p>教員の担い手不足は大きな問題だと感じている。その理由として、先生の仕事は大変なことばかりで、魅力がないと感じている若者が増えているからだと考えられる。これは八王子市で解決できる問題ではないと思うが、先生の魅力が伝えられるような先生の働き方や、それとは真逆の発想で先生が少なくてもやっていけるような方法を考える必要があると思う。今後5年間で取り組んでいくうえで現状のままでは心配が募る。</p>
参加者	<p>先日、東京都でコミュニティスクールについて話を聞きに行った際に、午前中は通常の授業、午後は探究学習に当てる地域があるという話を伺った。そこまで振り切ることは勇気が必要であったり、教員の指導力という問題もあると思うが、八王子市としてこのような取組を今後5年間の中で実施することはできないか。</p>
事務局	<p>実際に本市はいじめ対応のための時間確保するため、ほかの地域で週 29 時間の授業があるなか、本市は週 28 時間に設定していて、来年度には更に一時限減らす予定である。これは、先生方が年間を通して余裕をもって児童・生徒と接する時間を確保するという意味合いである。27 時間に設定することで5時間の授業が週3日間になり、子どもたちにもゆとりができ、教員にとっても、子どもと向き合う時間を確保することができると感じている。夏休みはこれまでよりも短くなるが、教科で習うべき授業数は決まっているので、一時限減らしたことによって、その時間をどこ</p>

かで確保しなければいけない。探究的な学習は、各教科だけでは学びきれないという部分も含めて授業の中で子どもたちが疑問に思ったことを自ら調べ探求していることを、教育委員会としても発信をしていかないといけないと感じている。子どもたちが成長していく中で、企業家教育など将来を見据えた教育も大切だと考えている。施策5「感性や創造性を育む活動の充実」について「施策の方向」の6つ目にあるように「STEAM教育」を新しく取り入れた。教科だけに捉われずに色々なことを探究学習していくという意味が込められている。本市は大学が多いので、大学とも連携をはかりながらすすめていきたいと考えている。各市区町村によって考え方に違いがあると思うが、本市に合った無理のない形で実施していきたい。5年後、10年後には本市で育った子どもたちが「八王子っていいな」と感じ、八王子市に戻ってきてほしいという願いも込められているので、そのような教育も取り組んでいきたいと思う。

参加者

9ページの「八王子の子どもに望む育ち方」の調査結果について、「心身ともに健康な子ども」が前回の調査結果よりも増えている。この結果は、施策5「感性や創造性を育む活動の充実」、施策6「食育の推進」、施策7「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」、施策8「特別支援教育の充実」に大きく関わっていると思う。八王子市は特に食育に力を入れていて、本校でも子どもたちが給食センターへ行き、給食を食べることで人との関わりや接点を持ち、八王子市の「つながるプラン」が活かされている実態が見受けられる。食品ロスの削減は中学生が関心を持っている内容でもあるので、八王子市の特色として食育の推進は今後も充実させる必要があると感じている。施策7「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」について、「現状と課題」の最後に「健康教育を更に推進していく必要があります。」とあるが、「施策の方向」の最後に「健康教育を推進します」と表記されている。さらに推進するということであれば、文言としては「充実をはかる」に文言を修正する必要があると思う。「性教育」や「いのちの安全教育」は、教育委員会から必ず求められていることなので、学校としても取り組んでいきたい。10ページの「学校教育への期待」について、5つ目にある「自ら学び、考え、主体的に行動する力」は探究的な学習の中で求められている部分だと思う。八王子市の強みとしては、大学と連携をしていることであるが、企業とコラボすると更に充実がはかれるとともに、感性や創造性を育む活動の充実にもつながると思う。施策4「いじめ防止対策の推進」の「主な取組」について、下から5つ目の「八王子市いのちの大切さを共に考える日」の取組の実施」に対する「施策の方向」に「いじめの未然防止・早期発見や発生時の迅速な対応をはかるため、児童・生徒の学校生活上の継続的な状況把握や家庭との連携をはかります」とあるが、いのちの大切さそのものがいじめ防止につながると思う。そう考えると、内容的には、「主な取組」の下から5つ目にある「八王子市いのちの大切さを共に考える日」の取組の実施」が一番上に移しても良いと

	<p>思う。施策3「自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」について、「現状と課題」の文中に「規範意識や公共の精神」と「情報社会における正しい判断」とある。10ページの「学校教育への期待」の2つ目に「善悪の判断など規範意識」とあり、改めて小・中学生に対して求める必要な教育と合致すると思うので、今後も徹底して取り組んでいく。施策3「自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」について、「施策の方向」の一番下に「地域の活動へ積極的に参加し、地域を地域で、地域とともに学ぶ機会の充実をはかります」とあるが、地域とどのように学校活動の中で連携していくのか。施策2「小中一貫教育の推進」についても、地域の子どもは地域で育てるということを考えると、小学校で出来ていたことが中学生になっても継続できるような、連続性のある地域との関わりを大事にしていくことが必要だと思う。施策10「帰国・外国人児童・生徒への就学の支援」について、学校の中にも日本語学級があるが実際に日本語指導が必要な子どもたちを見ていると、もう少し支援して下さる方がいてくれると更に子どもたちの日本語指導が充実すると感じている。来年度の都立入試で大きな変化がある。国籍要件が徹底され、日本語指導が必要な日本国籍の生徒も受けられるように変わった。このような状況を踏まえると、外国人児童・生徒の就学の支援を充実させていくことは必要だと思う。</p>
参加者	<p>データでいただいた8ページと施策26「誰もが学べる環境の整備」の中に誤植がある。8ページの、11「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくりの冒頭に「だれもが読書を日常の習慣の定着に向けとしている」とあるが、抜けている文字があるので修正してほしい。施策26「誰もが学べる環境の整備」においても、「誰もが読書を日常の習慣を目標としている」など文言を統一したほうが分かりやすいと思う。</p>
座長	<p>子どもの安全の面で最近気になるのが獣害である。先日も、地元の中学校の校庭にイノシシが現れたが、生徒の下校後だったため怪我等はなかった。また、熊や猿も出現している。何かいい案はないか検討してほしい。</p>
	<p>3 その他</p>
座長 事務局	<p>次回の開催予定を事務局から願います。</p> <p>次回の日程は令和7年2月5日(水)、場所は市役所本庁舎8階801会議室。時間は午後7時からを予定している。</p>
座長	<p>次回の開催通知、会議資料については、後日、電子メールにてお送りする。</p> <p>では、本日はこれにて閉会とする。</p> <p>4 閉会</p>